

28回生 思考廻廊パネル・デザインの作意

この集合写真は2007年8月11日の28回生の同期会のものです。思考廻廊は後輩たちへのメッセージという趣旨でしたが、

28回生としては卒業28年に110名集まった我々の姿がふさわしいと思いこの写真を採用しました。

この前年までの27年間、九州方面では28回生の同期会はほとんど行われることなく過ぎてしまい、その間に我々28回生の仲間が約10名他界してしまっていました。

2006年の福岡支部総会にたまたま出席した6名の28回生がその話をする中で

「死ぬ前にもう一度28回生で集まろうやないか！」

ということになり、その夏、長年世話人を務めてくれた西牟田君を中心に同期会を行い、思いがけず49名集まりました。

これをきっかけに、できれば28回生全員に声をかけて、翌年もう一度同窓会を行おうという事になり、約10カ月の準備期間を費やして170名余りの居所を突き止め、参加110名の大同期会を開催しました。

2003年度の同窓会名簿、古い我々の在学中の住所録、電話、メール、掲示板等を活用し、掲示板には約200枚の在学中の写真を公開して同級生の心を揺り動かし、開催にこぎつけました。ほとんどの同期生の所在を突き止めることができたのは、長電話で、あるときは大会社の秘書嬢をなだめすかし、あるときは奥様と意気投合し、さらには国際電話で海外勤務先まで追跡してくれた、シシこと江頭修作君の献身的な情熱の賜物で、2013年現在もシシの情熱の炎はさらに増すばかりで、同期生たちはその恩恵を受け続けています。

いざ同期会が始まると、みんな用意された料理にはほとんど手もつけずに話してばかりで、あっという間の3時間でした。

この同期会を出発点として、現在では東京、横浜、関西、福岡で頻繁に28回生の同期会が開催され、我々の絆が再び深まってきているところです。

いわばこの写真が28回生再スタートの記念碑だと思ってます。

2013年6月 28回生



2007.08 大同期会に寄せていただいた西原和美先生の書画